

2027年度春入学「はばたけ！ゴールドリボン奨学金」奨学生の募集を開始 ～ 小児がん経験者を対象とした給付型奨学金 ～

公益財団法人ゴールドリボン・ネットワーク(理事長:熱田 和実)は、大学等進学を目指す小児がん経験者を対象とした「はばたけ！ゴールドリボン奨学金」の第13期(2027年春入学)奨学生の募集を、6月1日に開始しました。

1. はばたけ！ゴールドリボン奨学金とは

大学・短大・専門学校への進学を目指しているにもかかわらず、経済的理由により修学困難な小児がん経験者への支援を目的とした予約採用型(入試前に採用を「予約」し、合格後に決定)、返済不要の給付型奨学金で、月額4万円を卒業まで支援します。

2. 募集内容

18歳未満でがんに罹患した、進学を目指す高校3年生および既卒者を対象とし、2026年6月1日～10月15日の期間で募集を行い、選考によって25名程度を決定します。

3. 小児がん経験者のための奨学金制度が必要な背景

日本では、年間約2,000～2,500人の子どもが小児がんと診断されています。近年の医学の進歩により、小児がんは「治る病気」になりつつあり、長期生存率は70～90%にまで向上しています。一方で、治療を終えた小児がん経験者の約半数は、がんそのものや、成長発達の途中で受けた化学療法・放射線治療・造血幹細胞移植などの影響により、「晩期合併症(晩期障害)」と呼ばれるさまざまな後遺症を抱えています。

晩期合併症には、内分泌機能障害、心機能や呼吸機能の低下、視力・聴力障害、学習面への影響、不妊や二次がんなどがあり、治療終了から何年、何十年と経過してから症状が現れる場合もあります。

そのため、小児がん経験者の中には、治療後も長期にわたる通院や検査を必要としながら学業を続けている学生や、体力面・健康面の課題からアルバイト等をするのが難しい学生もいます。進学や就労という人生の節目においても、健康面への不安を抱えながら将来設計を考えなければならないケースが少なくありません。

そこで、公益財団法人ゴールドリボン・ネットワークは、修学への強い意志を持つ学生が経済的理由で進学をあきらめることのないよう、小児がん経験者への返還不要な給付型奨学金制度を実施しています。

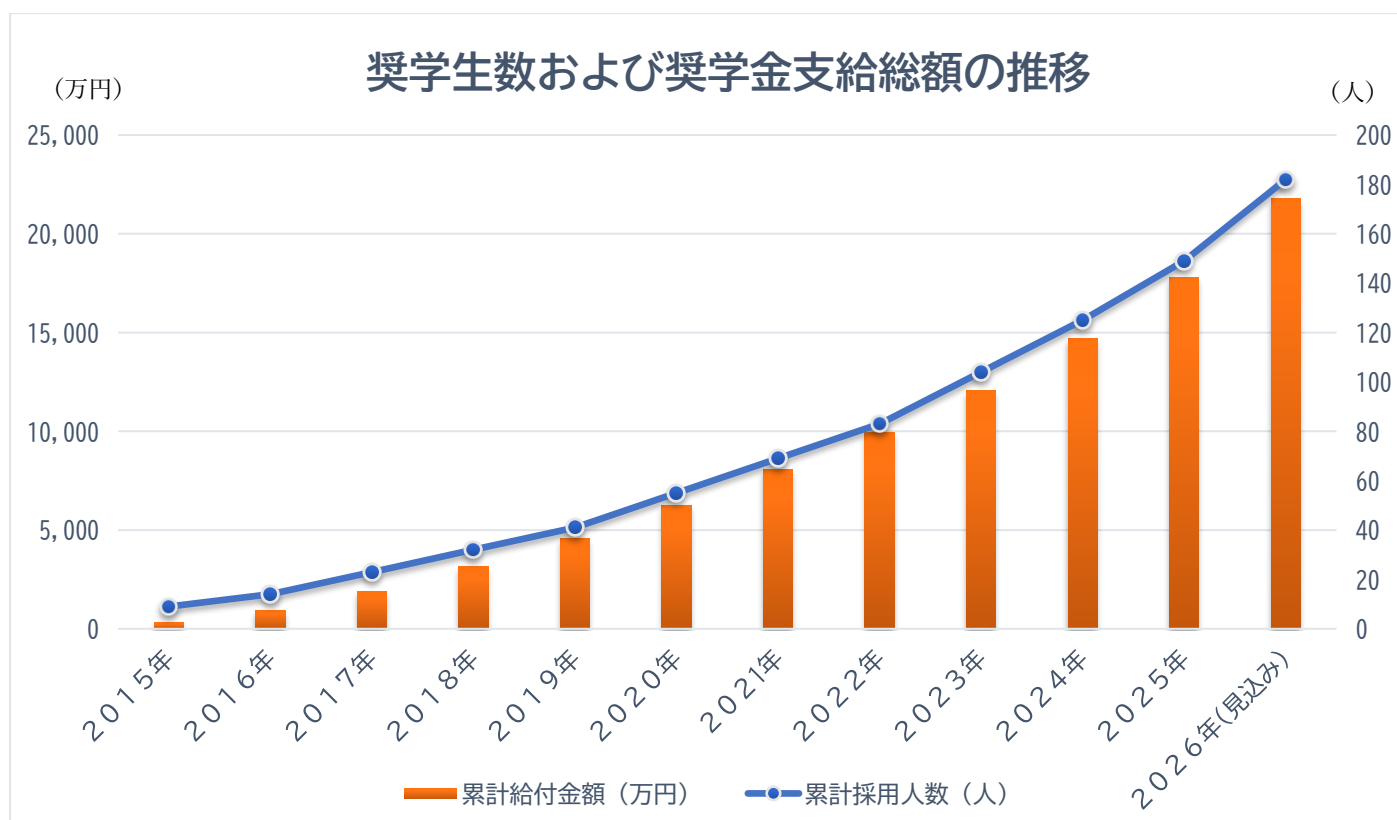
制度を開始した2015年以降、2026年度生までの奨学生世帯の平均収入は269万円で、ひとり親の割合は64.4%となっており、経済的な理由で進学を悩むひとり親世帯からの応募も多い現状があります。将来の夢に繋がる進学を後押しすることで、まだ広くは知られていない小児がん経験者の社会的課題の解決に向け取り組んでいます。

本奨学金制度を必要とする子どもや保護者に情報を届けるため、そして小児がん経験者が抱える現状を多くの方々に知っていただくために、報道関係者の皆さまにおかれましては本件についてご掲載をいただければ幸いです。

<資料>

奨学生数および奨学金給付額の推移

奨学生数および奨学金給付金額は2015年の制度開始以降、増加し続けています。2026年度奨学生(第12期:2026年4月~2027年3月)は新たに採用された新入学の33名と継続を含めて90名(全学年合計)となり、2026年度の奨学金給付予定額は約4,000万円に上り、2026年末までの奨学金給付額は累計で約2億2000万円となる見込みです。



※奨学生数には、年度途中の休学者・退学者を含む

【ゴールドリボン奨学生】2026年度奨学生の声

経済的な不安を軽減していただいたことで、学業に専念できる環境を整えることができました。病気の不安などがありながらも、日々の学びに集中できているのは、ひとえにご支援のおかげであり、深く感謝しております。(2026年継続生)

社会福祉学を学び、社会福祉士の資格取得に向けて勉強しています。ボランティアにも積極的に参加し、特に特養での音楽療法に参加させていただいた時は、認知症の方への療法の効果を間近で感じることができました。今後は精神保健福祉士とのW取得を目指し、より一層勉学に励みたいです。(2026年継続生)

【本リリースに関する問い合わせ先】

公益財団法人 ゴールドリボン・ネットワーク 担当: 大山・山崎・仲田

所在地: 東京都豊島区西池袋2-21-8-204 TEL: 03-5944-9922 E-mail: npo@goldribbon.jp

WEB サイト: <https://www.goldribbon.jp/> (HP)、<https://www.goldribbon.jp/archives/14771> (奨学生募集ページ)